
When the West wind blows

亜李子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

When the West wind blows

【Nコード】

N1567BA

【作者名】

亜李子

【あらすじ】

推理小説好きな主人公、リオンが山と川に囲まれた村で次々に起こる怪事件を解き明かすミステリーホラーである。

The first story - 1 Into the country

僕が初めて挑戦する推理小説をぜひ観覧していただきたいと思いますが、
す。2年ほどまえにもいろいろと小説を書かせてもらいましたが、
それもついででいいので覗いていただいたら幸いです。
今後とも宜しくお願いします

10月10日（日本時刻）午前7時、生まれ育ったイギリスを離れ日本へと飛び立った。

僕の名前は綾瀬 リオン（璃御）高校2年生の17歳だ。父がイギリス人で母が日本人のいわゆるハーフってやつだ。趣味は推理小説を読むことやあとはチェスをするのが趣味かな。あとは自分がないかをする度に手帳に時間とその出来事を記するのが子供のころからの趣味だ。おかげで手帳の数は部屋一杯にあるわけだが。

ところでなぜ僕が日本へ行くかというところ、母が久しぶりに日本に里帰りするのについて行くんだ。母の父にあたるお人、綾瀬 秀人、僕の祖父は僕と同じ推理小説とチェスが好きなひとで実を言うところの趣味は祖父の影響をばっちり受けたわけだ。2年ぶりに会うのでとても楽しみなんだ。今回の里帰りには父はついてこなかった。仕事が忙しいみたいらしい。

10月10日（日本時刻）午後8時、空港に到着。タクシーで祖父の家を目指す。祖父の暮らしているところは美しい山と川に囲まれたひっそりとした村だ。ロンドンの賑やかな雰囲気も嫌いではないが、やっぱりこいつた静かな雰囲気はやはり最高だと思う。

10月10日午後11時、祖父宅に到着。あたりはすっかり真っ暗でいかにも「でそう」な感じがするのである。祖父と軽いあいさつをしたあと、僕は就寝した。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1567ba/>

When the West wind blows

2012年1月3日23時50分発行